

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う						
1 実習準備・理解:35%						
2 授業態度・ティーチング態度:35%						
3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
必要に応じて実習マニュアルを配布する						
《授業外における学習方法》						
インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習						
《履修に当たっての留意点》						
ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる	テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
		各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる	テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
		各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる	テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
		各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる	テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
		各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる	テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
		各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。			

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第17回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第18回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第19回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第20回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第31回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第32回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第33回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第34回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第35回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 前期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第46回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第47回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第48回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第49回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第50回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 後期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第61回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第62回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第63回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第64回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第65回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 後期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第76回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第77回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第78回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第79回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第80回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 後期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》 1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。						
《成績評価の方法と基準》 実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う 1 実習準備・理解:35% 2 授業態度・ティーチング態度:35% 3 出席点:20% 平常点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 必要に応じて実習マニュアルを配布する						
《授業外における学習方法》 インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習						
《履修に当たっての留意点》 ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第91回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第92回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第93回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第94回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第95回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	生命工学技術科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	TA実習		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	240 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	AIロボット専攻 3年		学期及び曜時限	通年 後期	教室名	
担 当 教 員		実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>1, 2年時に学び得た知識の確認・定着・応用を目的に、1, 2年生の実習準備・サポートを行う。また、下級生に必要な知識を伝えることで、ティーチングの考え方について学習する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>実習に対する取り組みの姿勢、準備、実験結果等を合わせて総合的に評価を行う</p> <p>1 実習準備・理解:35%</p> <p>2 授業態度・ティーチング態度:35%</p> <p>3 出席点:20% 平常点:10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>必要に応じて実習マニュアルを配布する</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>インターネットや図書室、教科書、ノートによる事前学習</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>ティーチングアシスタントとして、実習準備・サポートを行うことにより、自らを振り返り知識技術の定着、コミュニケーションの重要性を理解するよう努めてほしい</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第106回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第107回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第108回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第109回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				
第110回	授業を通じての到達目標	作業・実習の目的、全容を把握し、指示のもとの確かな作業・実習サポートを行い、知識・技術の定着、コミュニケーション能力の向上ができる		テキスト・実習マニュアルなど	インターネット、図書室、テキスト・ノートを利用した事前学習	
	各コマにおける授業予定	実習・作業別に手順の確認、手順書の作成、作業準備、理論の学習を行う。				

